



循環型社会の実現のために

## 「3R」を基本としたライフスタイルを!



現在の豊かな暮らしは地球温暖化や環境汚染、ゴミ問題など多くの環境問題も引き起こしています。美しい環境を取り戻し、未来へとつなぐためにも、わたしたちはこれまでの「大量消費社会」から、限りある資源を有効に活用する「循環型社会」への転換を求められています。この循環型社会をつくるうえでの基本となる考え方が「3R」です。今回はわたしたち一人ひとりが毎日の生活の中でできる「3R」についてご紹介します。

### 「3R」とは？！

「3R」とは、ごみそのものを減らす「Reduce(リデュース)」、ごみとして捨てずに何回も繰り返し使う「Reuse(リユース)」、ごみをもう一度資源として再利用する「Recycle(リサイクル)」の3つの頭文字のRを表した環境配慮・廃棄物対策に関するキーワードです。この中で先ず優先されるのは、ごみを減らす、ごみになるようなものを減らす「Reduce」です。次に、使えるものは繰り返し使う「Reuse」。そしてどうしても使えなくなったものは、再び資源として使えるように再生利用「Recycle」することが大事です。わたしたちの生活の中ではどのようなことに気をつければいいのか。



- ☑ 買い物のときはマイバック(エコバック)を持参してレジ袋をもらわないようにする
- ☑ 使い捨てのプラスチック(スプーン、フォーク、ストロー)などはもらわない
- ☑ 過剰な包装は断る
- ☑ 食品ロスを削減するため、使う分だけ、必要な分だけを買う
- ☑ 製造する段階から長寿命製品や修理が容易な製品など、ごみになりにくい製品を選ぶ



- ☑ ビール瓶、一升瓶など、繰り返し使える「リターナブル容器」を選び、空き瓶はお店に引き取ってもらう
- ☑ シャンプーや洗剤などは、容器を再利用できる詰め替え商品を選ぶ
- ☑ 家庭で使わなくなった服や日用品、家具などは人に譲ったり、リユースショップやフリーマーケットを活用する



- ☑ 分別収集の対象となる古紙や空き缶、空き瓶、ペットボトルなどの資源ごみをきちんと分けて出す
- ☑ スーパーマーケットでの食品トレーなどの店頭回収に協力する
- ☑ 「エコマーク」や「グリーンマーク」などを目印に再生品を選んで買う



ごみを出さないことが一番ですが、どうしても出てしまうごみは、きちんと分別してリサイクルし、資源に戻して、有効に再利用できるようにしましょう。循環型社会を実現するために、環境にやさしく資源を大切にする暮らしを目指したいですね。

出典: 岩手県「循環型社会の形成と3Rの推進」

出典: 北海道「3Rの推進 北海道～Reduce Reuse Recycle～」